

## 目標達成計画

作成日: 平成 23 年 1 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	法人内の他のグループホームと相談や検討を行って共通の「看取り指針」を作成していきたい。	・法人内の「施設系連絡会」の中で議案として掲げて検討を重ねていく。 ・入居者様・家族様にも「家族会」などで話し合いのテーマとして掲げ、広く率直な意見を聞いてまとめていく。	12ヶ月
2	55	転倒が多い。	転倒を減らしていく。	・転倒の予防をする。(特に共有場所での着席時や歩行時に不安のある入居者様に対しては必ず見守りを行う。) ・転倒のリスクが高くないような対策を考える。(例:フロアをクッションマットに変更するなど)	12ヶ月
3	2	事業所と地域の付き合い	・地域の方が気軽に訪問できる施設にする。 ・地域での知名度を上げる。	・散歩時等にチラシなどを持ち歩き、挨拶を兼ねて近所の店舗などには施設名や場所をお知らせして、非常時等の協力もお願いしていきたい。 ・施設主催の「秋祭り」以外でも小さな催しを企画し、気軽にのぞいてもらう。	12ヶ月
4	14	同業者との交流を通じた向上	管理者だけでなく入居者様や職員間も交流する機会を持つ。	・法人の行事や施設の行事にも参加を呼びかける。 ・他のグループホームへも入居者様や職員と共に訪問したい。	6ヶ月
5	40	食事を楽しむことのできる支援	会話が弾むような工夫をする。	・食事時は食事介助が必要な入居者様が増えてきているのでおやつの時間に同じテーブルで共にお茶等をしながら会話をしていく。	1ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。